

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R5(2023).12.1

No.11

豊岡市HP→左中段「くらし・行政」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ
豊岡市のホームページにもアップしています

コミュニケーション教育 ～ 子どもの姿は

「異なる文化や価値観を持った人に対して、きちんと自分の主張を伝えること。意見が異なる人の考えや背景を理解し、協働しながら最適な解や納得できる解を見つけることが重要」のテーマのもと、平成29年度から全市展開している本市のコミュニケーション教育。先生方の地道で丁寧な取組の成果が確実に子どもの姿に表出しています。

演劇的手法を取り入れた授業に係る研修会⑤

「転入生がやってきた」

実施校：日高小・八代小学校（11月15日）

- ☆講師：平田 オリザ 先生
- ☆児童のようす⇒非常にコミュニケーション力が高い！
- ☆今回の演劇的手法を取り入れた授業のポイント
- ・タイムキープ⇒短めに設定。
- ・折り合いをつける⇒基本、声掛けはしない。アイデアは出るが実現しない場合や子ども同士のつなぎ方等については助言する。
- ・演劇の中で役を担う⇒自己有用感につながる。
- ・フィードバックについて⇒基本は褒める。集団の工夫を褒める。ダメだしするときも、代案を示す。

演劇的手法を取り入れた授業に係る研修会⑥

「オリジナル短歌と演劇づくり」

実施校：豊岡北中学校（11月16日）

- ☆講師：田野 邦彦 先生
- ☆生徒のようす⇒普段の教育活動が力となって表出している！
- ☆今回の演劇的手法を取り入れた授業のポイント
- ・話し合う環境を変える⇒最初の2人組をつくる過程では、人間関係を考慮して意図的に作ることも可。グループの人数は、4～6人が最適。
- ・発表させるステップ⇒短歌を講師に必ず見せる。その時に、声に出して読む。褒める。
- ・プログラム+ファシリテーションの工夫は大切。

【全国的に注目されています!】

視察にもたくさん来られています。青森県、大分県、東京都、大阪府、京都府等

【先生方の研修の場でもあります!】

小6、中1担当の先生方は、指導案に沿って授業をされます。授業の流れ、声掛け等、学ぶポイント満載です。

【市独自調査より】

小学校6年生の91.6%の児童及び中学校1年生の96.0%の生徒が、「学級みんなで話し合い協力してうれしかったことがある」と答えています。また、小学校6年生の95.3%の児童及び中学校1年生の98.0%の生徒が、「物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある」と答えています。

コミュニケーション教育

性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力の育成を目指す

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
指導区分	前期			中期			後期		
コミュニケーション教育	4つの視点 ①他者を理解する ②自己を見つける ③他者と協働する ④表現活動を取り入れ課題に取り組む								
	「めざすコミュニケーション能力の視点とその留意点一覧表」に沿って日常生活・学習で行う								
	演劇的手法を取り入れた授業								